

令和7年度

徳島市沖洲小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- ①主体的・対話的で深い学びの視点からの学習過程の改善・充実
- ②自ら学び、自ら考える子どもの育成

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員
教務主任:宮下鉄矢	委員 校長:米田直紀 教頭:片山宏美 研修主任 6学年:川口能史 5学年:長野麻衣 4学年:大下真季 3学年:中桐奈美 2学年:吉田夏実 1学年:濱口智子

校長

米田 直紀

【小中連携または中高連携における共通の取組】

語彙力の育成

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○「授業中、先生や友達の話をきちんと聞いている。」(以下A)の肯定的意見は81.3%と80%以上ある。 ●長い文章を正確に読み取ったり、身に付けた知識等を関連付けたりすることに課題がある。	・Aの90%以上を目指す。 ・読み違い、読み飛ばし、思い込み等せず文章から正しい情報を読み取ることができる。	・何が書かれているかを捉えさせるため、教科書にアンダーラインを入れさせる。 ・聞き方スキルを提示し、話を理解しながら聞き、自分の意見を進んで話す態度を育てる。 ・様々な学習の場において、聴写、メモをとる、インタビューなど「聞いたこと」を表現に生かす活動を反復して取り入れる。	・自分の考えと比べながら聞くように指導をする。 ・聞いた内容の要点を言わせるなど、聞く力を高めるトレーニングに取り組む。	県ステップアップテスト、全国学力・学習状況調査では、県や全国の平均をだいたいの教科で上回っていた。「授業中、先生や友達の話をきちんと聞いている。」の肯定的意見は91.6%と目標を達成した。	各学年で視写の取組や、聞き方を高めるトレーニング等を行い、文章から正しい情報を読み取る力の育成を引き続き図る。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○「授業中、進んで発表しようとしている」(以下B)の肯定的意見が、5・6年生で92.5%あった。 ●取り出した情報を基に、目的や意図に応じて自分の考えを明確にし、表現方法を選んで発信する力に課題がある。	・Bの90%以上を目指す。 ・他者と伝え合い、考えを深め、根拠や理由を基に自分の考えをもったり決めたりしている。	・話し方スキルを提示し、「伝え合い」に使用する語彙を増やし、根拠を基に話す態度を育てる。 ・学習活動の中で、自分の考えをもち、表現する機会を意図的に設ける。 ・ペア学習やグループ学習の機会を効果的に設定する。	・しっかり発表できるよう、言いやすい雰囲気や間違いを受け止める雰囲気作りをする。 ・話し合いの前に、個人でじっくり考える時間を十分に確保する。 ・話し合いの機会を増やすために、	「授業中、進んで発表しようとしている。」の肯定的意見は54.2%で目標の達成には至らなかった。	相手を意識した話し方や場に応じた適切な声の大きさを指導していくとともに、その状況を客観的に見ることができ状況を設定する等で、児童が伝え合う力のさらなる育成を図る。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題に対して、一生懸命取り組むことができる。 ●「家庭でも、毎日勉強をし、宿題をきちんとする。」(以下C)の肯定的意見は、5・6年生で88.8%であった。	・自分自身で考え行動し、主体的に活動できるようにする。 ・宿題や課題はきちんと提出することができ、家庭学習や自主学習に進んで取り組むことができる。Cの90%以上を目指す。	・何を・なぜ・どのように学ぶのが児童に伝わるよう、課題意識をもつ過程を重視し、学習課題や授業のめあてを工夫し、提示する。 ・めあてに対応したふり返りの視点を児童に示し、記述させる。 ・家庭学習の手本となる児童の内容を紹介し、着目すべき点を説明する。	・「徳島版読解力」で身に付けた学び方を活用し、新たな課題の解決に生かす。 ・家庭学習の定着を図るとともに、学習理解が不十分な児童の	「家庭でも、毎日勉強をし、宿題をきちんとする。」の肯定的意見は79.5%で目標の達成には至らなかった。	宿題の内容や生活のリズムなど、家庭学習が難しい背景を、早めに捉え、課題の選択や学習習慣の確立を図る。

令和7年度 学力向上ロードマップ

